

状から見れば一理あると考えるがどうか。

答 給食センターはどんどん老朽化し、単独調理校においても老朽化も進んでいきますので、今後、安全で安心かつよりよい給食を提供していけるように、また低コストということも含めて、タイムリーな手段を選択していきたいと考えています。

必ずしも市が給食センターを自前で建てて、公務員の調理師が給食サービスを学校給食だけのためにする必要はなく、質のよいサービスを低コストで安定的に供給を受けることこそ給食サービスの本質であり、官がやれば安全・安心、高品質というのは思い込みだと思っています。こういうサービスの分野こそ民間に任せ、行政としては民間がサービスをしっかりと提供できる環境づくりに努めることが大事だと思っています。

義務教育の充実について

井上智章 議員

問 学校統廃合問題において市にお金がなく耐震工事を急がないといけないから子どもたちを一カ所に集めようという矮

小化された問題で市民に是非を問うてはならない。財政が厳しい

くても、子どもたちにより悪い教育環境が統廃合の先にあるなら決して賛成できるものではない。①統廃合により子どもたちにソフトとしてどういった教育環境を提供できるか、②ハードとしてどういった教育環境が整備してあげられるか、③地域核としての小学校を取り上げるのであれば廃校予定の5校区のコミュニティを維持していく代替案の提案が必要ではないかと考える。これら3つの点において、できるだけ具体的な案を市民に提示し、議論し、理解を求める必要があるか。

答 財政が厳しいから統合という考えで提案をしているわけではありません。学校に大勢の児童、教師があり、学習や行事のときに、多くの刺激を得ることができ、教師同士の違った見解が反映され、会議も活性化し施策もいろいろ考え出される、クラス替えができ、人間関係の固定化を防ぐ、施設的には計画的に大規模改造ができる、安全・安心のために校舎をフェンスで囲う、ネットの穴をすぐ補修す

ることができる、防犯機器を整備することができる等々が考えられると思います。地域核は学校、お寺、神社、商店街、公民館、公会堂といった建物としての地域核、行政区の役員やボランティア、NPOといった人物、人材としての地域核などが考えられ、それをまとまった形で新しい地域核を構成していくというふうに考えています。

教育施設の耐震整備と統廃合問題について

後藤千明 議員

問 昨年度の耐震診断の結果、当初は22の教育施設を10年間かけて整備する計画が立てられたが、学校の統廃合を行い残していく施設だけの整備をしようという計画が変わっていった。この間、一体どういった内容があったのか。

宇仁校区に計画されているパイロットスクールについて、小規模を統廃合したいと言っているが小規模校のモデルがなぜ必要なのか。行政と地元との目線が違うと思うが。

PFI事業の導入について有利性と反有利性についての考えは。

答 教育委員会所管の施設を2年に1回ぐらいい順番に建てかえていくと、恐らくとんでもない数字が出てくると思います。教育論や人口減少論、財政論等を切り離さずあわせて考えていた

きたい。学校統廃合もせず幼稚園も保育所も別々に建てていき維持管理をしていくことが、現実的に加西市としてできるのかと考えていただきたいと思います。

パイロットスクールの必然性については、ゼロ歳から12歳までをつなぐということを全国に先駆けて研究、検討したいということと、新しい学校と新しい地域の考え方、動きをリンクさせて研究していくのが一番すばらしい地域だと考えているからです。宇仁の方々の思いとは違うと思いますが、せっかくなのであります。付加価値のある学校をつくっていくというのが我々の考え方であると、地域に行っても言うつもりです。

PFIの一番有利なのは、一斉、一括に借り、比較的低金利で、それを平準に返していくことだと理解しており、いま加西の状況が一番合っていると考えています。

北条本町・イオン周辺道路について

丸岡弘満 議員

問 イオンのオープンに伴い、周辺の混雑状況等を大変危惧している。福崎側から笠屋交差点を直進してきた場合、路線バスを含め、イオンへの右折入

場は禁止なのか。また、一方通行であるにもかかわらず違反車両が存在する。今後イオンがオープンし、北条の本町の中が迂回路、ショートカットの道として利用する可能性があるのではと危惧するが、歩行者の安全や一方通行等の交通ルールを守ることに徹底できるよう、標識、看板等、どのように取り組むのか。

答 渋滞対策に関しては、事業者によって事前に警察、県等、関係機関との調整の上、交通対策を検討、実施しています。車両は左折イン、左折アウトを原則とし、各出入口での誘導路を利用者敷地内で設置、西保育所前交差点の右折レーン、本町交差点での左折レーンの設置、広域誘導看板の設置とともに、新聞折り込みチラシ等で来来店ルートへの周知徹底、交通整理員の配置等により定着を図るとし